

## 安全データシート (SDS)

### 1 製品及び会社情報

製品名	ユニコン ガスモレチェック 365
製品コード	38090
会社名	石原ケミカル株式会社
住所	〒652-0806 神戸市兵庫区西柳原町5番26号
担当部門	第一研究部
電話番号	078-682-2321
FAX番号	078-682-4513
用途	ガス配管部、接続部のガス漏れチェック
制定日	2007年11月9日
改訂日	2014年11月5日
整理番号	08002-05 j

### 2 危険有害性の要約

GHS分類

※記載のないものは分類対象外、区分外または分類出来ない。

GHSラベル要素

シンボル

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

### 3 組成、成分情報

化学物質 ・ 混合物の区別

・ 混合物

成分名／ 化学名	含有量 (wt%)	CAS No.	化審法No. ※ 1	PRTR法No. ※ 2	毒劇物該非 ※ 3	安衛法 通知No.※ 4
水	90～98	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当
グリコール系 溶剤	1～5	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
界面活性剤	1未満	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当
二酸化炭素	1～5	124-38-9	(1)-169	非該当	非該当	非該当

※ 1 化審法 官報公示整理番号(化審法)

※ 2 P R T R法報告物質

非該当 該当物質は含有するが、規定量未満。

### ※3 毒物及び劇物取締法

非該当 該当物質は含有しない。

### ※4 労働安全衛生法

表示物質 : 施行令第18条 名称等を表示すべき有害物質

通知物質 : 法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質

第2種有機溶剤・第3種有機溶剤 : 施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則

非該当 該当物質は含有しない。

### 有機溶剤中毒予防規則

非該当 該当物質は含有しない。

## 4 応急処置

### 大量に吸入した場合

- ・吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ・直ちに医師の診断を受ける。
- ・呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

### 皮膚に付着した場合

- ・衣服等に付着した場合は脱いで、皮膚に付着した部分を石鹸でよく洗う。
- ・皮膚刺激または手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、直ちに医師の診断を受ける。

### 目に入った場合

- ・直ちに清浄な水で15分以上洗眼する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗淨する。
- ・眼の刺激が続く場合は医師の手当てを受ける。

### 飲み込んだ場合

- ・直ちに水で口の中を洗淨後、ぬるま湯を飲ませ吐き出させる。
- ・直ちに医師の診断を受ける。

### 最も重要な兆候及び症状

- ・データなし

### 応急措置をする者の保護

- ・救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

### 医師に対する特別注意事項

- ・特になし。

## 5 火災時の措置

### 消火剤

- ・この製品自体は、不燃性のため周囲の火災に対して適切な消化剤を選定し使用する。
- ・特になし。
- ・火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがある。
- ・煙の吸入を避ける。

### 特有の消火方法

- ・消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災の現場にエアゾール容器があると破裂する恐れがあるので、消火活動には距離を十分に取って行う。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。

- ・火災場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

#### 消火を行う者の保護

- ・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
- ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

## 6 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
- ・付近の人を安全な場所に避難させ、関係者以外の立ち入りを禁止する。

### 環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
- ・土壌の汚染、水質汚濁に繋がるので、可能な限り回収する。

### 回収、中和

- ・少量の場合は、電気掃除機、ほうき等で掃き集める。火花を発生しない安全な用具を使用して、密閉できる空容器に回収する。
- ・大量の場合：漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
- ・作業の際には必ず保護具を着用する。
- ・漏洩した液は土砂などでその流れを止め、安全な場所に導いた後、出来るだけ空容器に回収する。
- ・河川、下水道等に排出されないように注意する。
- ・少量の場合：土砂、ウエス等で吸着させて空容器に回収し、その後を完全にウエス等で拭き取る。

### 二次災害の防止法

- ・漏出物の上をむやみに歩かない。
- ・周囲の着火源を取り除く。
- ・関係箇所に通報し応援を求める。
- ・作業の際は、換気を十分に行う。

## 7 取扱い上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

- ・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しない。
- ・熱・火花・裸火・高温のもののような着火源から遠ざける。
- ・人体に向かって噴射しない、また噴射気体を直接吸入しない。
- ・眼、皮膚、または衣類に付けない。
- ・取扱いは、屋外または換気のよい場所で行う。
- ・取り扱い後はよく手を洗う。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をする。

### 保管

#### 適切な保管条件

- ・製品記載の保管条件を読み、適切に保管する。
- ・日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しない。
- ・涼しい所、換気の良い場所で保管する。
- ・湿気の多い所、水周りなど容器が腐食しやすい場所におかない。

- ・直射日光を避ける。

#### 安全な容器包装材料

- ・高圧ガス保安法等の法令で規定されている容器を使用する。

## 8 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

- ・取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とする。
  - ・屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気の発生が多い場所には局所排気装置を設ける。
- 記載の無いものは、知見なし、あるいはデータなし

	管理濃度	許容濃度
二酸化炭素	規定なし	5,000ppm (TLV-TWA)

### 保護具

#### 呼吸器の保護具

- ・必要に応じて保護マスク等を着用する。

#### 手の保護具

- ・必要に応じて保護手袋を着用する。

#### 目の保護具

- ・必要に応じて保護眼鏡を着用する。

## 9 物理的及び化学的性質

外観	: 無色透明液体
臭い	: 無臭
pH	: 7.3
融点/凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: 100°C以上
引火点	: なし
自然発火温度(発火点)	: なし
燃焼性	: なし
燃焼又は爆発範囲下限、上限	: なし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
比重	: 1.009
溶解性	: 水に易溶
オクタノール/水分分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
その他のデータ	: データなし

## 10 安定性及び反応性

### 反応性

### 化学的安定性

- ・通常の取扱いにおいては安定である。

#### 危険有害反応性の可能性

- ・特になし。

#### 避けるべき条件

- ・高温多湿な場所での保管及び火気の近くでの使用。
- ・熱。

#### 混触危険性物質

- ・特になし。

#### 危険有害な分解生成物

- ・特になし。

#### その他

- ・二酸化炭素を急速に放出した場合、ドライアイスが発生又は配管中の錆、ダスト、水分等により静電気が発生し、可燃性混合気体がある場合には着火することがある。アルミニウム合金はマグネシウム含有量が低い限り腐食性は問題ではない。

## 11 有害性情報

### 製品全体としての有害性情報

個々の成分の有害性情報：記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

## 12 環境影響情報

### 製品全体としての有害性情報

個々の成分の有害性情報：記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

## 13 廃棄上の注意

- ・内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。
- ・廃棄する際は、中身を使いきってから、火気のない戸外でボタンを押し、ガスを完全に抜いてから、地域のゴミ処理方法に従って廃棄する。
- ・廃棄する際は、中身を使いきってから、地域のゴミ処理方法に従って廃棄する。

## 14 輸送上の注意

### 国際規制

#### 国連分類

高圧ガス 不燃性ガス毒性なしクラス2.2  
エアゾール1950

### 国内規制

エアゾール126

#### 積載方法

運搬時の積み重ね高さは3m以下  
高圧ガス

### 輸送の特定の安全対策及び条件

- ・荷くずれ防止を確実に行う。

- ・ 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・ 直射日光を避ける。
- ・ 水漏れ厳禁。
- ・ 横積み厳禁。
- ・ 輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

## 15 適用法令

火薬類取締法

対象外

高圧ガス保安法

対象外

消防法 ( ) 内は、指定数量

非危険物(消防法上の非危険物)

毒物及び劇物取締法(毒劇物取締法)

非該当(該当物質は含有しない)

労働安全衛生法

表示・通知対象物質を含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法(有機溶剤中毒予防規則)

非該当 該当成分を含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の促進の改善の促進に関する法 (PRTR法)

非該当 該当物質は含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

外国為替及び外国貿易法 (外為法)

輸出貿易管理令別表第1の1～15項、別表第2の1～44項に非該当

## 16 その他の情報

参考文献

化学物質等安全データシート(MSDS)-第1部:内容及び項目の順序 JIS Z7250:2005

GHS分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ)

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版 (日本オートケミカル工業会)

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。